

300
名様
参加無料

※応募多数の場合は抽選



AMED 臨床研究フォーラム

くすりができるまで

みんなでつくる新しいくすり
— 開発秘話から学ぶ臨床試験の必要性 —

主催：国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)

みなさんが病気のときに飲んでいくすりは、どのように生まれてきたのでしょうか。
日本が生んだ世界的なくすりを例として、くすりが誕生するまでの過程を説明するとともに、
みなさんがどのようにくすりづくりに参加できるのか、ご紹介したいと思います。



2017年
1月28日 土

開場 13:00 開演 13:30 終了 16:00
(予定)

丸ビルホール

東京都千代田区丸の内2-4-1丸ビル7階
JR「東京」駅丸の内南口 徒歩1分、地下鉄丸の内線「東京」駅直結
地下鉄千代田線「二重橋前」駅直結

プログラム 司会 / 町 亞聖

第1部 基調講演
「世界初のエイズ治療薬はこうしてできた
～成功と失敗を乗り越えて～」
講師 / 溝屋 裕明 先生(国立研究開発法人 国立国際医療研究センター 研究所 所長)
「アルツハイマー病治療薬開発の夢を追って」
講師 / 杉本 八郎 先生(同志社大学 脳科学研究科 神経疾患研究センター チェア・プロフェッサー)
ゲスト講演
「薬は希望」 講師 / 岸本 葉子 さん(エッセイスト)
第2部 パネルディスカッション
「くすり誕生に欠かせない、治験って? 臨床研究って?」
出演者 / 杉本 八郎 先生
後藤 功一 先生(国立研究開発法人 国立がん研究センター-東病院 呼吸器内科長)
岸本 葉子 さん

参加申し込み方法

郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、希望人数(希望者全員の氏名、年齢)を明記の上、郵便はがき、FAX、インターネット、メールのいずれかで、ご応募ください。一度の申し込みで4名様まで応募可能です。当選者の発表は聴講券の発送をもって代えさせていただきます。
●はがき / 〒103-0024 東京都中央区日本橋小舟町2-2 正木ビル2階 AMED臨床研究フォーラム事務局「くすりができるまで」係
●F A X / 03-6661-1751
「くすりができるまで」係と明記してください。スマートフォンは
こちらからどうぞ ↓
●U R L / <http://enq.digital.asahi.com/epost>
●e-mail / amed@entry-jimukyoku.jp
●応募締め切り / 2017年1月10日(火) 必着
インターネットは23時59分まで
●お問い合わせ / AMED臨床研究フォーラム事務局
☎03-6661-2562
(平日10時～17時、土日祝日及び12/28～1/4を除く)



※ 個人情報は聴講券発送の他、国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED)、及び朝日新聞グループ(朝日新聞社、朝日新聞社グループ企業、ASAなど朝日新聞を取り扱う新聞販売所)が、(1)商品・サービスの配送・提供・案内や改善・開発等の調査、(2)催物案内、(3)提携企業等提供の商品・サービス・催物の案内やプレゼント、アンケート類の送付目的で、AMED、及び朝日新聞社ホームページに掲載された個人情報保護方針に従い、共同利用します。